

NTN:タジマ、プリーブ等の事例

地域と共生する超小型モビリティ勉強会事務局
(国土交通省自動車局)

- タジマモーターコーポレーション製「NTN:タジマ」の例
- ノイエス製「プリーブ」の例
- トヨタ車体制「コムス」の改造の例
- ヤマハ発動機製「ゴルフカー」の例
- まとめ

ベース車両名	超小型モビリティ・プラットフォーム
所有者	NTN(株)
製作者	(株)タジマモーターコーポレーション
種別	軽自動車(組立車) 全長×全幅×全高:2.74m×1.47m×1.72m 車両重量:530kg(ドア取付後:550kg) 定格出力:2.4kw×2(後輪駆動)
特徴	インホイールモータシステム(※)を搭載

※ インホイールモータシステム



車両の写真

小型EV用インホイールモータシステムの特長
-空間スペース有効利用・設計自由度の向上-

- (1)小型インホイールモータモジュール
薄型ハブベアリングを採用し、ホイール内への格納が可能。
- (2)駆動系を一体的にシステム化
駆動モータ、減速機、ハブベアリング、制御システム(インバータを含む)
- (3)左右輪の駆動力独立制御



小型EV用インホイールモータシステム
(後輪2輪に適用)

静岡県磐田市

- 事業期間:平成26年9月11日～平成28年9月30日
- 運行地域:磐田市全域
- 認定台数:3台
- 磐田市及び静岡県(中遠総合庁舎)の公用車、金融機関の営業車、地域企業の営業集配業務等に利用



公用車としての利用

磐田市では、公用車として活用、イベントでの利用等行政のほか、地元金融機関、新産業創出協議会の会員企業、地域包括支援センター等の民間13事業所へ超小型モビリティを貸与し、アンケートを実施。

モビリティを利用してよかった点を挙げてください。(有効回答:66件)

- ・加速がよい(17%)
- ・小回りがきく(15%)
- ・環境にやさしい(9%)
- ・駐車がしやすい(9%)
- ・訪問先に喜ばれる(8%) 等

どんな業務に適していると思いますか？(有効回答:62件)

- ・近距離の移動(31%)
- ・買い物(11%)
- ・狭い道路の移動(10%)
- ・ルート営業(6%) 等

アンケート結果

今後もモビリティを利用したいと思いませんか？(有効回答:58件)

はい:66% いいえ:34%

モビリティを利用して改善すべき点を挙げてください。(有効回答:107件)

- ・後方の視野が狭い(11%)
- ・ブレーキの改善(11%)
- ・暑い・寒い(9%)
- ・乗り降りがしづらい(8%)
- ・窓ガラスが必要(7%) 等

どのような形状が好ましい・便利だと思いますか？(有効回答:10件)

- ・よりコンパクトにする(70%)
- ・2・3人乗りが良い(10%)
- ・ドアがある方がよい(10%)
- ・ドアがない方が乗降りが楽(10%)

三重県桑名市 実施時期:2015年8月～2018年8月

ネット・ゼロエネルギータウンでの無料レンタル

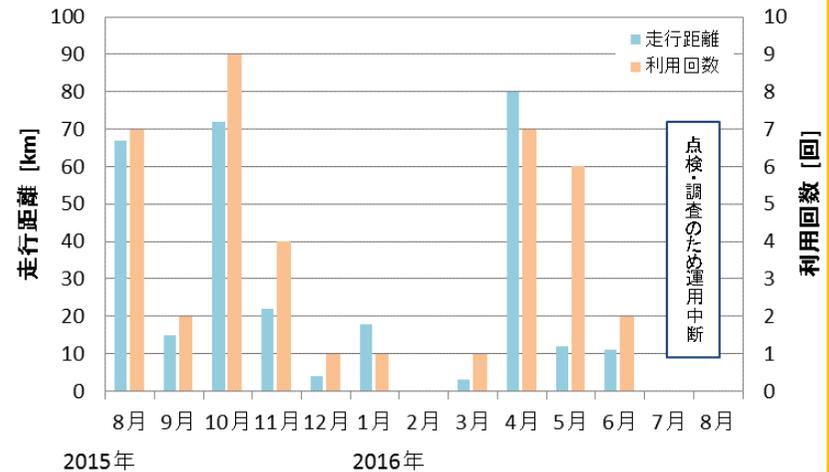


超小型モビリティ
(大和ハウスがNTN(株)から使用貸借)

スマ・エコステーション

桑名市のスマ・エコタウン「陽だまりの丘」(66棟)で、大和ハウスが3年間無償レンタル。

- 新たな交通手段を住民に提案
- 省エネ・省CO2化に寄与
- 充電には太陽光発電を活用
- 可搬型蓄電池は非常用電源に



三重県伊勢市 実施時期:2013年10月～2016年6月

歴史と調和した観光地での回遊性向上

公用、イベントでの展示・試乗会、EV協議会参加者による社用車としての使用のほか、伊勢の古い街並みで観光ドライブコースを設定しモニターツアーを実施。

(モニターツアー参加者のアンケート) (抜粋)

- 2人だと会話が楽しめてよい
- 家庭用コンセントで充電できるのがよい
- △ 扉・エアコンがつけば楽しい車になりそう
- × エアコン、ナビ、エアバッグがほしい
- × 後ろが見にくい
- × 窓がない



モニターツアーの様子

小型EV観光モニターツアー (第7弾)
小型EVで巡る岳参りと空の旅
～ 朝熊山頂にて涼と絶景を楽しもう ～



開催日時 平成27年9月30日(水)
13:00～16:00

集合場所 伊勢市駅手荷物預かり所前
(伊勢市駅JR側降りて左手)

ツアーコース
伊勢市駅 → スカイライン山頂(※山頂観覧します。) → 伊勢市駅

募集人数 5人程度(参加費無料)
※応募は先着順に受付します。

申込方法 参加資格・申込方法については、裏面をご確認ください。

主催:電気自動車等を活用した伊勢市低炭素社会創造協議会(事務局:伊勢市環境課)
共催:三重エフエム放送株式会社 協力:三重県観光開発株式会社



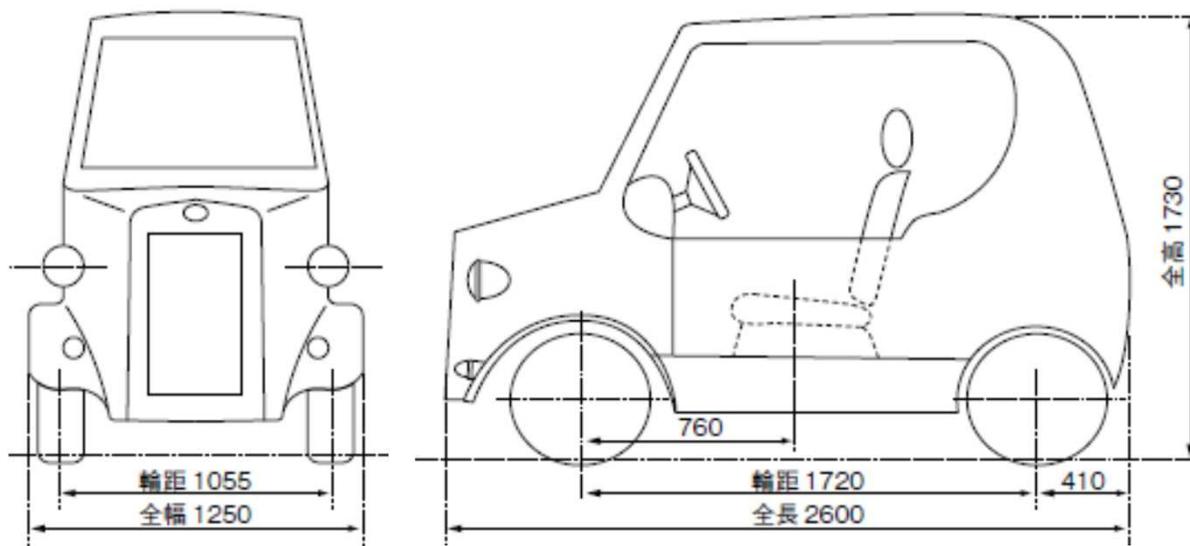
- タジマモーターコーポレーション製「NTN:タジマ」の例
- ノイエス製「プリーブ」の例
- トヨタ車体制「コムス」の改造の例
- ヤマハ発動機製「ゴルフカー」の例
- まとめ

ノイエス製「プリーブ」の例（愛知県安城市）①



ネジ止めされた屋根を外せばオープンカーに

- 安城市における事業のため株式会社ノイエスにより製作・導入された。
- 安城市役所職員や商工会議所職員などの利用者からデザインで高評価を得た。
- ベンチャー企業が超小型モビリティ市場に参入する先駆けとなった。



仕様	
寸法	2,600 × 1,250 × 1,730 (全長 × 全幅 × 全高)
最高速度	前進: 50km/h
定格出力	4.4 kW
航続距離	40km
充電方式	100V 14A

ノイエス製「プリーブ」の例（愛知県安城市）②

事業（き～☆モビ）概要

サービス名	「き～☆モビ」（会員制ワンウェイ型カーシェアリング）
目的	市内における市民の回遊性の向上と商工事業者のコスト削減に貢献。
車両※	開始時 11台（プリーブ1台、コムス9台） ※コムスの1台は2人乗り 現在 31台（コムス31台） ※現在、プリーブは運営者専用車両として活用
サービス内容	15分100円の従量課金制度。専用Webサイトから、予約・キャンセルが可能。会員カードで電源ON/OFFを行う。
位置	JR安城駅、三河安城駅エリアを中心に、駅、コンビニ、スーパー、公民館、病院など、41ステーションで展開。 2016年3月 エネルギーマネジメントの実証施設「ソーラーステーション」を開業。

車両



トヨタ車体
「T・COM」



ノイエス社
「プリーブ」

運営者専用車両



トヨタ車体
「コムス
P・COM」

- <使用例>
- スーパーなどへの買い物で
 - 外回り営業のときに
 - 通院や通勤のときに
 - 自家用車の代わりとして



トヨタ車体
「コムス
B・COM」

- <使用例>
- 冷蔵品の業務配送で
 - 生鮮品の買い物帰りに
 - 寿司などの店屋物お届けで

ノイエス製「プリーブ」の例（愛知県安城市）③

車両に対する意見（一部抜粋）

トヨタ車体
「T・COM」



ノイエス社
「プリーブ」



車両の安全性	<ul style="list-style-type: none"> フロントガラスが曇りやすく、頻繁に拭かなければならず、改善が必要と思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 走行中、風に煽られ、窓ガラスの代わりに付いている幌のボタンが一部外れることがあった。一時停止して付け直す必要があった。 ボディがFRP設計のため、万が一事故があった際に十分に運転者を守ってくれるか心配だった。
車両の利便性	<ul style="list-style-type: none"> 鍵をかけられず車内に荷物を置きっぱなしにできないので、複数の店で買い物のハシゴができないのが残念。 	<ul style="list-style-type: none"> 小回りが効くのはよかった。駅前の細い道にもスムーズに入っていくことができた。 「超小型」という割には大きいと感じた。
車両の快適性	<ul style="list-style-type: none"> 後部座席が特に風が吹き込んで寒く、また座席が前に倒れず乗り難い。 	<ul style="list-style-type: none"> 身長180cmくらい体格の大きな人と乗ったところ、かなり窮屈であると感じた。快適なドライブというわけにはいかなかった。 車両デザインがすごくよかった。見た目に乗ってみたいと感じた。もし自分で所有できるなら、一般車両と違い派手目なデザインにしてみたい。（女性のインタビュー対象者の声）
地域回遊の向上性	<ul style="list-style-type: none"> 気軽に外出しようと思うようになった。外出機会が増えた一因になっている。 行動範囲を広げていきたいという意味では、き～☆モビの運転可能範囲が市内限定とされているのに不満がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 超小型モビリティがあることで外出する機会を持つことができた。具体的には、昼食を取りに同僚と市街地に出かけることができた。
今後の利用意向	<ul style="list-style-type: none"> まだ、自動車の代替というほどには感じられていない。き～☆モビがもう少し時間的制約がなくなればよい。 2人乗りの台数をもっと増やして欲しい。昼休みなど、2人で少し足を延ばしてランチに出かけるような利用方法も考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 自宅において利用したい。カーシェアで利用するよりも、セカンドカーとして購入してもよい。 遠出するために車を手放すのは考えにくいですが、街中を移動するためであれば超小型モビリティでよい。スーパーやレンタルビデオ店に行く場合などが典型例。

安全性に対して懸念を示す声が聞かれた。一方で、自分で保有して使いたいという声が多かった。

- タジマモーターコーポレーション製「NTN:タジマ」の例
- ノイエス製「プリーブ」の例
- **トヨタ車体制「コムス」の改造の例**
- ヤマハ発動機製「ゴルフカー」の例
- まとめ

トヨタ車体製「コムス」の改造の例(愛知県豊田市足助地区) ①



仕様	ベーシック	オープン	ロング
寸法	1,935×955×1,600 (全長×全幅×全高)	1,935×955×1,570 (全長×全幅×全高)	2,365×955×1,600 (全長×全幅×全高)
最小回転半径	2.6m		3.3m
最高速度	前進:50km/h 後進:15km/h		
定格出力	0.58 kW		
航続距離	35km程度		45km程度
充電方式	100V 10A		100V 12A



自作2人乗りコムス



荷台がBOXのコムス

1. 事業の特徴・概要

名古屋大学、東京大学、豊田市などが中山間部地域でのモデルコミュニティづくりとして、自家用車相乗りシステム、乗合いタクシー、超小型EVなど多様な移動手段を提供し、中山間地域の移動と活動を活発化することを狙う社会実験。

その一環として、東京大学鎌田教授及び名古屋大学中條氏らの指導により、中山間部での地域住民の足としてコムスを用いることによる効果検証を実施。

なお、カーメーカー3社(トヨタ・日産・ホンダ)は過疎地や中山間地で実証を行っていない。

場所:愛知県豊田市足助地区

実験団体:名古屋大学、東京大学、豊田市など

2. 見学、ヒヤリング内容

日時:2016年12月5日(月) 14:00-16:15

内容:栗園での試乗と住民の方へのヒヤリング

出席者:

先方:実際に利用されている住民の方、
名古屋大学、豊田市、トヨタ車体

当方:国交省環境政策課、日産、ホンダ、トヨタ

足助町航空写真

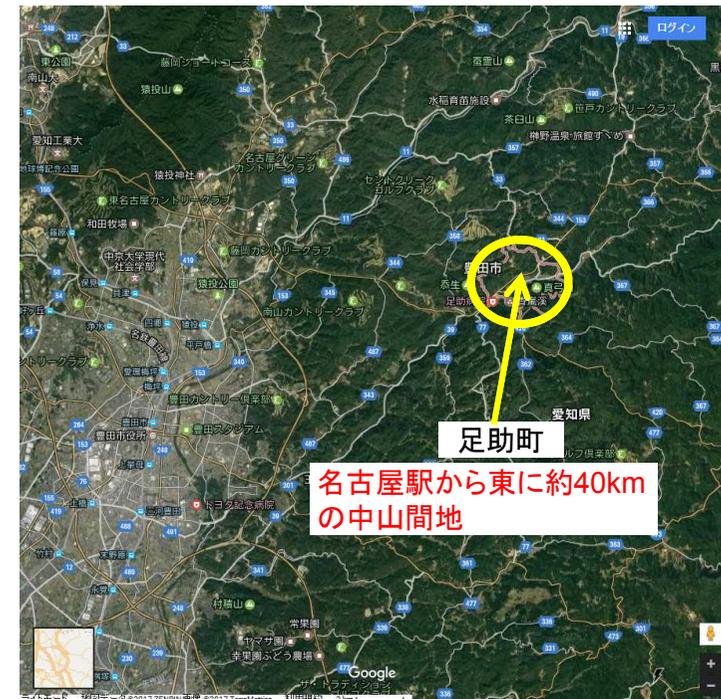


写真1 路線バス時刻表
(毎週月曜のみ1本運行)

(足助の交通事情)

- ・路線バスは毎週月曜のみ1本運行(写真1)。
- ・農作業などは軽トラックを活用。
- ・車が移動手段の中心(バイクや自転車はあまり使わない)。

3. ヒアリング結果

1) 超小型モビリティが有効な使用用途は？

- ・軽トラに比べ荷台が低いので、肥料などの載せ降ろしが楽。
- ・道路から高い位置にある家に荷物などを配達する際、道路で車を止めて坂道を歩いて上がるのは大変。軽トラだと庭先で切り返しができない恐れがあるが、コムスなら庭先(玄関口)まで乗り付けられる(写真)。
- ・高齢者にとっては、幅の狭いクルマは車庫入れなどしやすく便利。乗り降りのしやすさも大切(旧コムスのほうが新コムスより乗り降りしやすい)。

2) 超小型モビリティは軽自動車の買い替え？増車？

- ・軽を手放すことはなく、買うとしたら増車で使いわけ(遠方は車、近くはコムス)。

3) 電動アシスト自転車は？

- ・勾配がありほとんど自転車(電動アシストも)は使わない。

4) 免許について

- ・高齢者は普通免許の更新に不安があり、原付免許と同等の視力0.5でも乗れることを希望(普通免許の要件は0.7)。

5) 価格・乗車定員・維持費について

- ・コムス80万円と軽100万円としたら、20万円の差では軽を選ぶだろう。40万円を切るくらいでないと買わないのでは？
- ・こども園への送迎、老夫婦での畑仕事や通院などにおいて、2人乗りのニーズはある。しかし、(1人乗りは原付きだが)2人乗りが軽自動車と同じで車検があるとしたら費用面に不満。
- ・車両単体でのコストダウンだけでなく、小水力発電とセットとかの組み合わせでビジネスを成立させるのが良いのでは。

この先に
家がある



道路から家までの坂道

6) 最高速度について

- ・幹線道路を走るとしたら60km/hはほしい。60km/hで走るとしたらエアバッグなどある程度の安全装備も必要では。
- ・集落内での使用など割り切った使い方なら40km/hでもよいかも。

7) 登坂性能について

- ・市販のコムスでは栗園などの急斜面で登坂性能が不足するケースがある。新型コムスのギヤ比を変更してトルクアップした車両を使用している(写真)。

8) EVであること、充電について

- ・GSの廃業が進んでおり(3か所→1か所)家で充電できるのはメリット。200Vだと充電設備が少ないので家庭の100Vで充電できることが必要。

4. まとめ

- ・超小型であることが生かせる用途は、道路から家への坂道や畑などの狭い道路での、少量の荷物(肥料や書類など)の集配や人の移動。
- ・自動車(軽トラックを含む)からの乗換えではなく、増車がメイン。
- ・幹線道路を走る場合は60km/hが望まれ、その場合は安全装備にも期待。
- ・幹線道路を走行しない地域限定の使用なら低速でも可。
- ・40万円以下が期待値。2人乗りのニーズも多い。
- ・原付免許並みの視力要件の免許を希望する声もある。
- ・充電は家庭用100Vが使える必要がある。
- ・地域での使い方に応じて荷台などを改造するニーズもある。



栗園へのアプローチ



栗園内の坂道
通常のコムスでは登坂力不足

- タジマモーターコーポレーション製「NTN:タジマ」の例
- ノイエス製「プリーブ」の例
- トヨタ車体制「コムス」の改造の例
- ヤマハ発動機製「ゴルフカー」の例
- まとめ

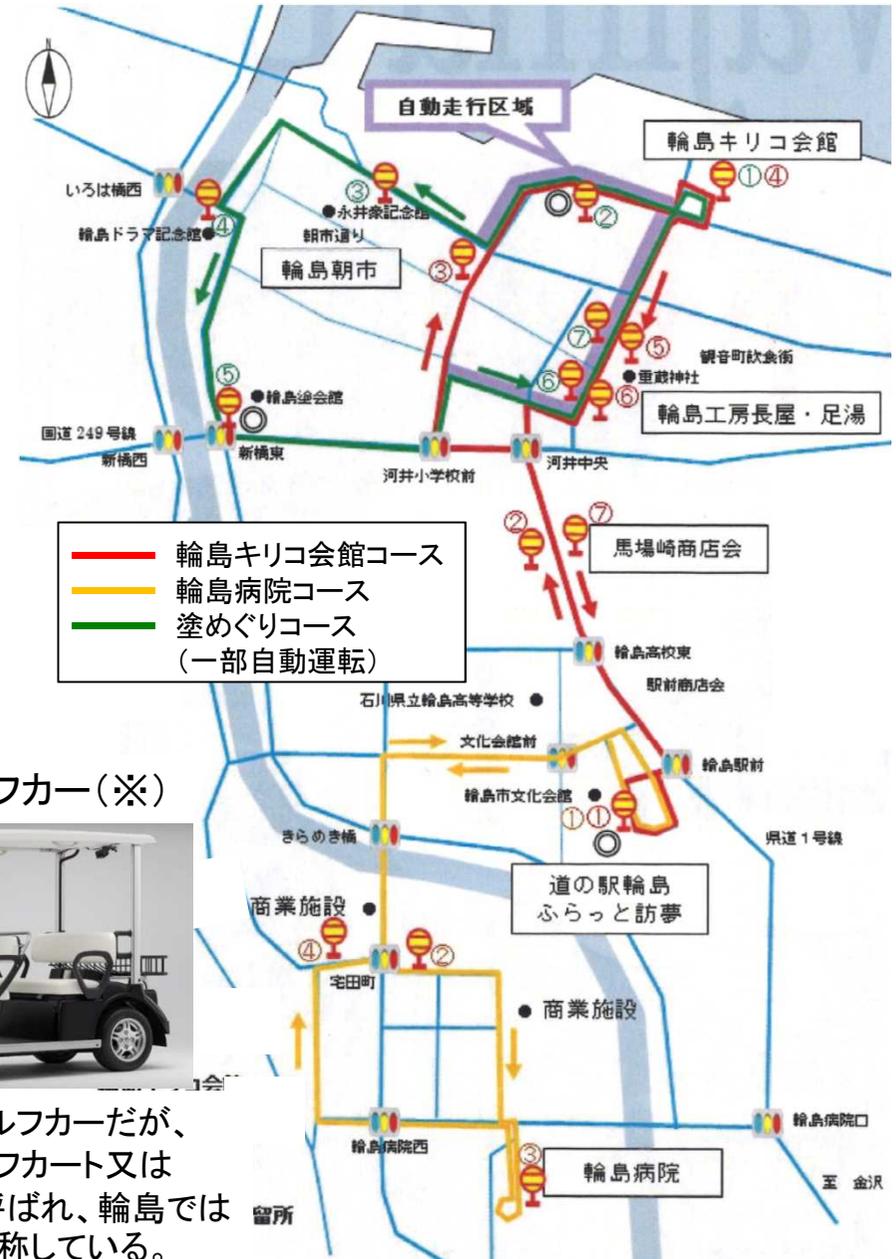
ヤマハ発動機製「ゴルフカー」の例（石川県輪島市）①

概要

- 各約3kmの3コース（8コースまで拡張を計画）
（平成27年7月から2コース、平成28年6月から3コース）
- 4台の車両を保有
- 各コース1周16～20分
午前午後それぞれ約2時間で各コース7週の周回運行
- **最高速度19km/h**
- 運営は、2コースは商工会議所が、1コースは(株)まちづくり輪島が実施
- **料金は無料**
- 1コースの一部（左図の薄紫部分）が**自動運転**
（平成28年11月開始）

仕様

寸法	3,120 × 1,329 × 1,837 (全長) (全幅) (全高)
車両総重量	770kg
乗車定員	4名
最小回転半径	3.4m
モータ出力	3.5kW
最高速度	19km/h



ヤマハ製ゴルフカー(※)



※ 商品名はゴルフカーだが、一般にはゴルフカート又は電動カートと呼ばれ、輪島では「エコカート」と称している。

導入理由

＜輪島商工会議所の里谷会頭のお話より＞

- **エコカート導入の目的は高齢者の移動手段の確保。**
“動くベンチ”の感覚で気軽に乗れることと、帰りの足の心配がないことが重要。
- 高齢者には「気軽さ」が特に重要。
運転免許証返納後は、移動のために家族にお願いすることが最大のストレス。
- エコカートは最低地上高も低く乗りやすい。（※ 最低地上高は115mm）
- エコカートならではの会話や交流が生まれ、さらに、地元商店街をめぐりながら地域経済の活性化にもつながる。
- 速度は19km/hで十分。

小さい子でも乗りやすい



※ 写真は輪島商工会議所HPより

輪島市での取組の経緯

平成13年	<ul style="list-style-type: none"> • 能登鉄道廃止、コミュニティバス（のらんけバス）運行開始
平成22年度	<ul style="list-style-type: none"> • 市内の交通手段の調査、先行事例の調査を実施
平成23～25年度	<ul style="list-style-type: none"> • エコカートでの社会実験を実施（平成23年度870人、平成24年度1,300人、平成25年度287人乗車） • 構造改革特区申請（平成23年及び平成25年。いずれも認められず。）
平成26年度	<ul style="list-style-type: none"> • 次世代交通対策協議会設立 • エコカートの軽ナンバー取得・調査走行開始（11月）
平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> • 輪島キリコ会館コース・輪島病院コース運行開始（7月）、市の支援で2台増車（8月）
平成28年度	<ul style="list-style-type: none"> • 塗めぐりコース運行開始（6月）、輪島キリコ会館駐車場にて誘導線埋設・自動走行試乗（8月） • 塗めぐりコースの一部で自動走行開始（11月）

最高速度19km/h



※ 写真は交差点付近だが、
交差点手前以外も片側2車線

- コースのほとんどが最高速度30km/h。
- 細い道(写真左)が多いが、2車線の道路(写真右)もある。
- 国道や県道(いずれも1車線)のほか、輪島病院コースの片側2車線道路でも**交通の妨げにはなっていない**。(後向きのドライブレコーダで渋滞状況を確認。)
- その理由として以下が考えられる。
 - 幹線道路を通るのが1km以下であること、
 - 100～300mごとに信号があること
 - 街の人口規模等から交通量が比較的少ないこと
 - 通過交通がほとんどないという地理的特徴
 - 停留所の間隔が狭く、停留所で追い抜かれること



輪島市は半島の先に位置し、
通過交通がほとんどない
という地理的な特徴がある。
幹線道路を含むコースでも
低速のモビリティを活用する
ことができる一つの要因と
考えられる。

無料運行



||



- 商工会議所の会頭の「橋は初期費用も維持費もかかるが利用料金を取らない。移動手段の確保はインフラ整備と同じ。」との信念。
- 車両は、「愛・地球博成果継承発展助成事業」の助成の活用や輪島市の支援により調達。
- 運営費用のほとんどを占める人件費については、商工会議所等の職員が運転することで直接の支出にはなっていない。

しかし、バッテリー交換費用等、**事業の継続性には課題**が残る。

自動運転

- 目的は**人件費の削減**。
 - 将来はシルバー運転手の活用を想定。
⇒ **高齢者の雇用を創出**
 - 貴重な若手人材にはより生産性の高い仕事を。
⇒ **人材確保の課題も同時に解決**



ボタンを押すだけの簡単仕様
自動運転開始のボタン(上)
自動／手動の切り替え(下)



道路に埋め込まれた誘導線
一時停止、速度切換え、ウィンカーも道路からの信号による。自動運転区間の最高速度は12km/h。

まとめ

- 輪島市中心部の域内交通においては、
 - 低速（観光と伝統工芸の街に高速移動は不要）
 - ドアの無い気軽さ（“動くベンチ”）
 - 自動運転に限らず手動でも運転が楽
 - ランニングコスト（電気代）が安いという特徴を併せ持つ**エコカートが有効**である。
- 全国の類似の地域では需要が見込まれるのではないかと。
- 地域内交通であれば、交通量次第では幹線道路を低速で通ることも可能と考えられる。
- 他方、より速い速度や、ドアがあることによる快適性がより重視される可能性もある。**地域の需要の見極めが重要**と考えられる。



事務局(国交省)のほか、東京都、APEV(電気自動車普及協会)、トヨタ自動車の計9名で視察。里谷会頭と撮影。

参考

- 国土交通省総合交通メールマガジン第91号
<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/91.pdf>
<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/1607wajima.pdf>
- 日本版CCRCで知られるシェア金沢の運営母体「佛子園」が、多世代多文化共生型の街づくりの取組み「輪島カブーレ」を開始。エコカートは交通分野の柱。<http://wajima-kabulet.jp>
- 平成28年6月、ヤマハ発動機(株)がゴルフカーのコンセプトモデルを公表。(右写真)

将来はこんな形状に・・・？



(同社HPより)

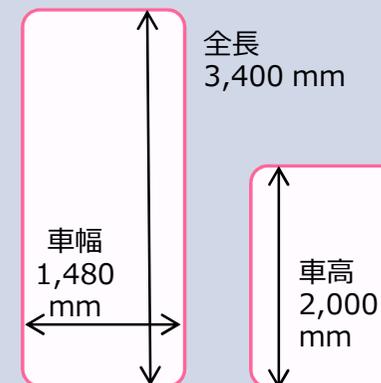
- タジマモーターコーポレーション製「NTN:タジマ」の例
- ノイエス製「プリーブ」の例
- トヨタ車体制「コムス」の改造の例
- ヤマハ発動機製「ゴルフカー」の例
- まとめ

超小型モビリティのサイズ比較

名称／メーカー	i-ROAD / TOYOTA	NMC (NISSAN New Mobility Concept) / 日産	MC-β / HONDA
サイズイメージ	前後2人乗り		
	 <p>1人乗り仕様あり</p> <p>全長 2,345mm</p> <p>車幅 870mm</p> <p>車高 1,455mm</p>	 <p>全長 2,340mm</p> <p>車幅 1,230mm</p> <p>車高 1,450mm</p>	 <p>全長 2,495mm</p> <p>車幅 1,280mm</p> <p>車高 1,545mm</p>
	 <p>1人乗り</p> <p>2人乗り仕様あり</p> <p>全長 2,395mm</p> <p>車幅 1,095mm</p> <p>車高 1,495mm</p>	 <p>全長 2,740mm</p> <p>車幅 1,470mm</p> <p>車高 1,720mm</p>	 <p>左右2人乗り</p> <p>全長 2,600mm</p> <p>車幅 1,250mm</p> <p>車高 1,730mm</p>
名称／メーカー	COMS / トヨタ車体	NTN:タジマ / タジマモーターコーポレーション	プリーブ / ノイエス

(参考) 軽自動車の規格

4人乗り



※ 写真はいずれもメーカーHPより

提供出来たベネフィット・課題一覧

	都市部	郊外	過疎地域
近距離の日常的な交通手段	<p>【ベネフィット】 幅の狭い車両は、都市部の日常移動としての有用性あり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・狭い道でも走行可能 ・移動時間の短縮 ・二人乗りニーズ充足 ・駐車スペース確保容易 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・充電設備の充実 (行先での既設コンセントによる継足し) <p>TYPE-A</p>	<p>軽自動車・軽EVと競合</p> <p>取り回しの良さは軽より優れるものの、エアコン・窓が無い等の快適性能、航続距離が短い等のデメリットがあり、軽自動車に対する優位性が見出せなかった。</p> <p>走行エリアの限定など、地域と需要を見極めた上での小型低速車の可能性</p> <p>TYPE-D</p>	
観光地・商業地での回遊・周遊	<p>【ベネフィット】 公共交通の補完としての有用性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・狭い道でも走行可能 ・移動時間の短縮 ・二人乗りニーズ充足 ・駐車スペース確保容易 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単独での事業性確保 	<p>【ベネフィット】 アトラクショナルな付加価値 訪問先での駐車スペース確保容易</p> <p>【課題】 軽自動車との競合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乗車人数差 ・積載量差 ・航続距離差 ・快適性能差 <p>TYPE-B</p>	
業務 ・ 小規模配送 ・ 訪問介護・巡回	<p>【ベネフィット】 100kg程度積載できる車両の有効性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・狭い道でも走行可能 ・駐車スペース確保容易 ・二輪車よりも安心・運転容易 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積載量の拡大 ・配達中の駐車施策 	<p>【ベネフィット】 100kg程度積載できる車両の有効性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・狭い道でも走行可能 ・駐車スペース確保容易 ・二輪車よりも安心・運転容易 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積載量の拡大 ・航続距離不足 <p>TYPE-C</p>	

試行導入から得られた超小型モビリティの分類

車両	TYPE-A	TYPE-B	TYPE-C	TYPE-D
主な活用シーン	<ul style="list-style-type: none"> 都市部、郊外部問わず、近距離の日常的な交通手段 	<ul style="list-style-type: none"> 観光地・商業地での回遊・周遊 訪問介護 防犯パトロール 	<ul style="list-style-type: none"> 小規模配送やポーターサービス 	<ul style="list-style-type: none"> 限定エリアでの低速域の移動
ユーザ像	<ul style="list-style-type: none"> 通勤・通学 子育てママ・パパ 	<ul style="list-style-type: none"> 観光客 巡回事業 	<ul style="list-style-type: none"> 宅配など法人 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者
既存の移動手段	<ul style="list-style-type: none"> 自転車 スクータ 徒歩 	<ul style="list-style-type: none"> 乗用車/レンタカー バス タクシー 	<ul style="list-style-type: none"> 商用バン・トラック 2輪/3輪 	<ul style="list-style-type: none"> 自転車 シニアカー 徒歩
キーベネフィット	<ul style="list-style-type: none"> 2輪並みの駐車スペース 転倒しない 風雨がしのげる ヘルメット不要 	<ul style="list-style-type: none"> コンパクト (取り回しの良さ) 乗降性 転倒しない 風雨がしのげる 	<ul style="list-style-type: none"> コンパクト (停車時に邪魔にならない) 小回り 乗降性 転倒しない 風雨がしのげる 	<ul style="list-style-type: none"> 気軽さ 地域の活性化
車両イメージ	<ul style="list-style-type: none"> 全幅<100cm程度 2人乗 ドア要 100V充電 航続距離 30~40km程度 	<ul style="list-style-type: none"> 全幅<130cm程度 2~3人乗 航続距離 50~100km程度 	<ul style="list-style-type: none"> 全幅<130cm程度 1人乗 積載量 100kg程度 	<ul style="list-style-type: none"> 全幅<130cm程度 1~2人乗 最高速度≤xxkm/h (低速)